

2017年度 地球惑星科学科 卒業論文発表会プログラム

2月16日(金)場所:ELSI 1階 ホール

発表:9分 質疑応答:3分

	時間	氏名	題目
1	09:00-09:12	梅垣 千賀	内部磁気圏における高エネルギー電子のinjectionの解析:あらせ衛星観測
2	09:12-09:24	吉岡 淳	関東地震のアスペリティの固着と浅発地震の関連性
3	09:24-09:36	臼井 友輔	沈み込むスラブ内の地震クラスター:震源決定と起震応力場
4	09:36-09:48	及川 元己	SP振幅比を用いた火山深部低周波地震の発震機構解の推定
5	09:48-10:00	柏木 広和	富士山周辺の地震波減衰と浅部マグマ溜まり
6	10:00-10:12	藤田 学	iSpecを用いた合成スペクトル計算によるKeplerフィールド内のGK型巨星の大気パラメータ決定
7	10:12-10:24	布川 啓二郎	原始惑星系円盤ダスト放射の観測データとダスト落下モデルの比較
8	10:24-10:36	諸澤 直香	プルームマグマの揮発性成分:カメルーン玄武岩中のメルト包有物からの制約
	10:36-10:46	休憩 (10分)	
9	10:46-10:58	松本 海斗	熱赤外分光計を用いた都市大気の大気温度分布逆推定に関する実験的検討
10	10:58-11:10	安喰 基剛	風力発電事業の計画段階における環境紛争の発生状況と解決要因
11	11:10-11:22	重原 悠太郎	見掛比抵抗と位相速度の同時逆解析による表層地盤構造の推定
12	11:22-11:34	渡辺 雅紀	地震波干渉法に基づく熊本地震の被災地域での余震記録の分析
13	11:34-11:46	前田 卓見	東京都呑川汽水域における塩水遡上の現地観測と数値解析
14	11:46-11:58	岩崎 友樹	霞ヶ浦湖心部における波浪による底泥巻き上げ過程の現地観測
15	11:58-12:10	小林 翔	原始惑星系円盤の厚みを考慮することによる質量降着モデルの修正
16	12:10-12:22	竹本 正輝	Dust Aggregate の幾何学的構造と熱伝導率との関係
	12:22-13:20	休憩(卒研担当教員は 315号室へ集合のこと)	
17	13:20-13:32	椎名 大暉	原始太陽系星雲内での不十分な拡散による同位体異常の可能性
18	13:32-13:44	尾崎 遼平	周惑星円盤における微衛星形成に対するダストサイズ分布の影響
19	13:44-13:56	関 航佑	系外惑星大気におけるサイズ分布を考慮した雲粒の凝縮成長
20	13:56-14:08	本間 和明	有機物マントルを持つ岩石ダストの付着:モデル構築と微惑星形成への応用
21	14:08-14:20	安藤 照浩	hcp構造FeH合金の地球深部圧力下における弾性特性
22	14:20-14:32	井上 勇人	高温高圧力下におけるFe-Si合金の電気・熱伝導率
23	14:32-14:44	木村 清二	マントル遷移層鉱物の格子熱伝導率測定
24	14:44-14:56	中村 菜由	小惑星サンプルリターン試料の元素・同位体分析に向けた、微量地球外試料分析法の開発
25	14:56-15:08	馬場 智也	隕石の同位体二分性と惑星系の起源:微量Mo同位体分析によるアプローチ
	15:08-15:18	休憩 (10分)	
26	15:18-15:30	森満 悠介	火星初期マントルリザバー混合過程の解明に向けた、シャーゴットイト隕石NWA1950の地球化学的研究
27	15:30-15:42	久保田 勇祐	コマチアイトの硫黄同位体異常を用いた太古代マントル物質循環の研究
28	15:42-15:54	山本 倫也	フッ化法による ¹³ C- ¹³ C二重置換同位体分子種の計測法開発
29	15:54-16:06	金 範植	後期太古代の堆積岩にみられる有機炭素同位体異常の分布とその起源
30	16:06-16:18	佐々木 肯太	草津白根火山火口湖の水温変化メカニズムに関する研究
31	16:18-16:30	石川 将暉	高密度電気探査と水同位体比測定による草津白根火山北側噴気地帯の熱水系の考察
32	16:30-16:42	深井 雅斗	北上山地のマグネトテリック観測
33	16:42-16:54	桑原 歩	原始惑星系円盤内における小質量惑星周りのガスダイナミクス
34	16:54-17:06	山路 紘徳	氷ペブルの昇華による岩石微惑星の形成 -- 焼結による破壊の効果
(卒研担当教員は 315号室へ集合のこと)			